

駒込 武

台湾人にとっての戦争経験と  
植民地体験

— 異郷を漂流する亡魂



[第2回] 6.13 (木)

人文研アカデミー  
連続セミナー

2024

藤原辰史

ナチスの「飢餓計画」を考える  
— ヘルベルト・バッケ

[第1回] 6.6 (木)

# 第二次世界大戦 再考

[第3回] 6.20 (木)

林田敏子

キッチンソルジャー

— 第二次世界大戦期  
イギリスにおける主婦の戦い



主催：京都大学人文科学研究所  
お問い合わせ：京都大学人文研アカデミー  
z-academy@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>



会場：京都大学人文研本館  
4階大会議室

6月6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)  
いずれも18時30分～20時  
【オンラインなし対面のみ】

[第4回] 6.27 (木)



岡田暁生

無力な老大芸術家は  
大戦をどう耐え忍んだか

— ナチス時代のリヒャルト・シュトラウス



## 藤原辰史 (京都大学)

【専門分野】 食と農の現代史

【主要業績】

『カブラの冬』(人文書院, 2011)

『決定版 ナチスのキッチン』(共和国, 2016)

『分解の哲学』(青土社, 2019)

第二次世界大戦が終結した1945年から来年で80年になります。1945年以降、今日までの世界の歩みはこの戦争によって決定的に方向づけられてきました。しかし、パレスチナやウクライナの戦争を持ち出すまでもなく、近年になって「ポスト第二次世界大戦レジーム」の機能不全があらさまに露呈してきていることも否定できません。私たちはどこから来て、今どこにいて、これからどこへ向かおうとしているのか、と問う際には、第二次世界大戦をあらためて再考する作業が欠かせません。混沌とし閉塞感を強める現代世界を把握するための手がかりを提供する、本連続セミナーの意図はここにあります。

# [第1回] 6.6 (木)



## 駒込 武 (京都大学)

【専門分野】 教育と学問の歴史、台湾近現代史

【主要業績】

『世界史のなかの台湾植民地支配』(岩波書店, 2015年)

『生活綴方で編む「戦後史」』(岩波書店, 2020年)

吳叡人著(駒込武訳)『台湾、あるいは孤立無援の島の思想』(みすず書房, 2021年)

# [第2回] 6.13 (木)



## 司会: 小関 隆 (京都大学)

【専門分野】 イギリス・アイルランド近現代史

【主要業績】

『プリムローズ・リーグの時代』(岩波書店, 2006年)

『徴兵制と良心的兵役拒否』(人文書院, 2011年)

『アイルランド革命』(岩波書店, 2018年)

# [第3回] 6.20 (木)

## 林田敏子 (奈良女子大学)

【専門分野】 イギリス近現代史

【主要業績】

『戦う女、戦わない女』(人文書院, 2013年)

『警察』(ミネルヴァ書房, 2012年)

『イギリス近代警察の誕生』(昭和堂, 2003年)



【アクセス】

- 京阪電鉄  
「出町柳駅」下車徒歩15分
- 市バス  
3・31・65・201・206系統「百万遍」下車  
17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
- hoopバス  
「京都大学前」下車徒歩8分  
いずれも京都大学北門入ってすぐ右

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

# [第4回] 6.27 (木)

## 岡田暁生 (京都大学)

【専門分野】 西洋音楽史

【主要業績】

『オペラの運命』(中公新書, 2001年)

『西洋音楽史』(中公新書, 2005年)

『ごまかさないクラシック音楽』(片山社と共著、新潮選書, 2023年)

